

令和7年度 学校評価アンケート結果と考察

葛城市立白鳳中学校

- ◎ 調査時期 生徒：令和7年11月17日（月）～21日（金）
教職員：令和7年11月5日（水）～14日（金）
保護者：令和7年11月5日（水）～14日（金）
- ◎ 調査方法 全てインターネット回答（GoogleFormを使用）
- ◎ 調査人数 生徒486名（回答375名）
保護者回答194名
教職員回答37名
- ◎ 質問項目 ①学校運営・安全指導について3項目
②学習活動について8項目
③学校生活・規範意識について10項目
④人権教育等について5項目



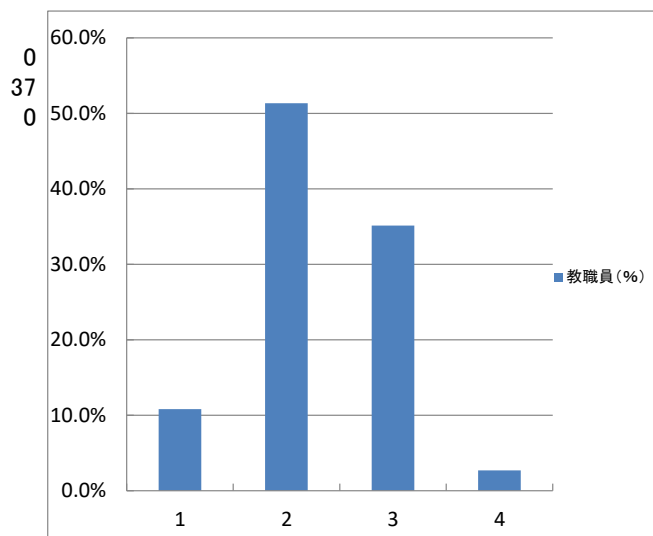
令和7年度 学校評価アンケート結果

葛城市立 白鳳中学校

1=思う 2=ややそう思う 3=あまり思わない 4=思わない

① (教職員1) 充実した学校生活を送っているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数				
教職員人数	4	19	13	1
保護者人数				
生徒(%)				
教職員(%)	10.8%	51.4%	35.1%	2.7%
保護者(%)				

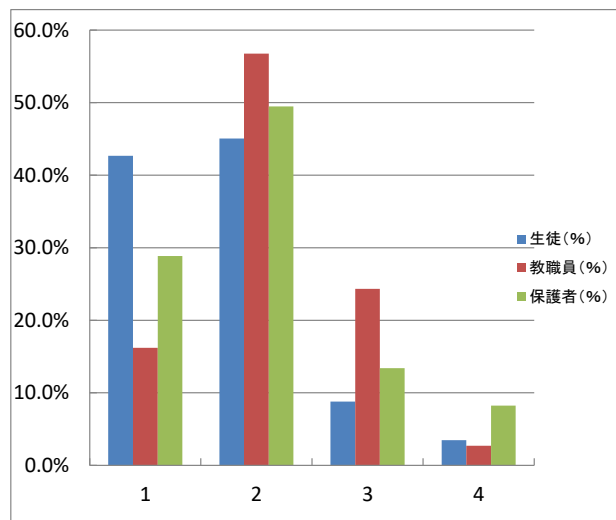


肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度		100.0%	
令和6年度		91.4%	
令和7年度		62.2%	

生徒のニーズや変化を捉えきれず、学校生活の魅力と満足度を維持できなかったことが反省点である。個々の生徒に寄り添い、居場所や活躍の場を再構築して生徒主体の活動を増やすように、今後の計画に反映させていくことが課題である。

② (生徒2) (教職員2) (保護者2) 楽しく学校生活を送っているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	160	169	33	13
教職員人数	6	21	9	1
保護者人数	56	96	26	16
生徒(%)	42.7%	45.1%	8.8%	3.5%
教職員(%)	16.2%	56.8%	24.3%	2.7%
保護者(%)	28.9%	49.5%	13.4%	8.2%



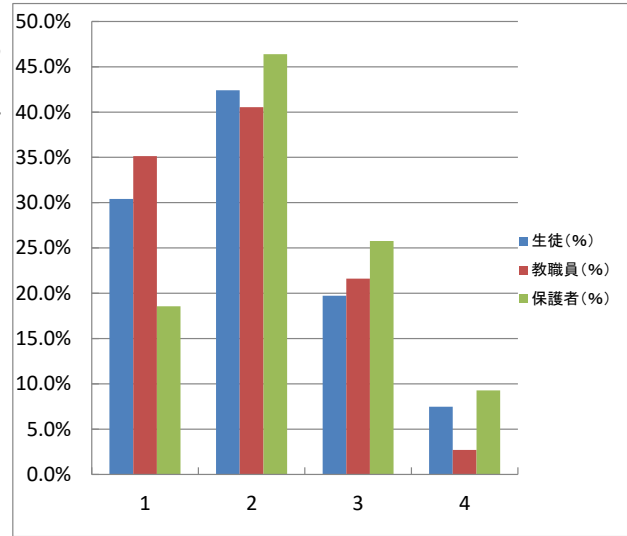
肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	89.1%	100.0%	88.0%
令和6年度	88.1%	94.3%	85.5%
令和7年度	87.7%	73.0%	78.4%

特に教職員と保護者の数値が下がっているのは、①と同じ理由と考えられる。否定的回答を掘り上げて、よりよい学校生活になるように更なる改善を図る必要がある。

- ③ (生徒3)
 (教職員3) 学級や学校での様子を便りなどを使って、積極的に家庭に知らせているか。
 (保護者3)

回答	1	2	3	4
生徒人数	114	159	74	28
教職員人数	13	15	8	1
保護者人数	36	90	50	18
生徒(%)	30.4%	42.4%	19.7%	7.5%
教職員(%)	35.1%	40.5%	21.6%	2.7%
保護者(%)	18.6%	46.4%	25.8%	9.3%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	76.5%	85.7%	77.3%
令和6年度	78.2%	97.1%	78.0%
令和7年度	72.8%	75.7%	64.9%

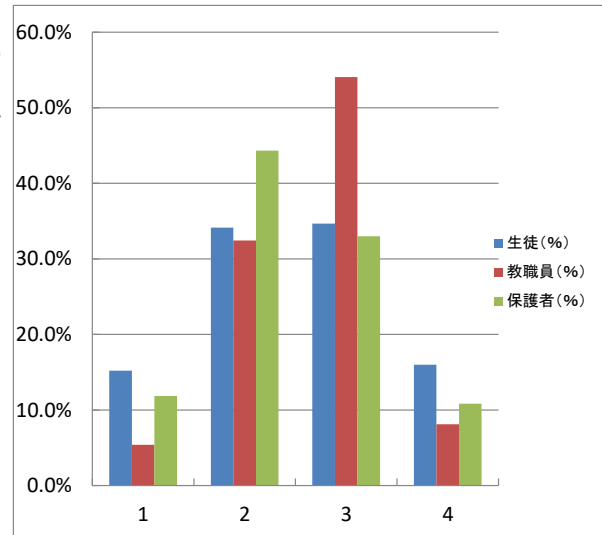


HPの更新回数をできる限り増やして公開するようになってきたが、更新頻度はもちろんのこと、例えば学校行事のプロセスの公開を増やしたり、生徒の発言や学びの様子など、具体的なエピソードを交えて紹介して、家庭が子どもの成長を感じられるようにしたりして、内容のさらなる充実を図る必要がある。

- ④ (生徒4)
 (教職員4) 安全な学校だと思うか。
 (保護者4)

回答	1	2	3	4
生徒人数	57	128	130	60
教職員人数	2	12	20	3
保護者人数	23	86	64	21
生徒(%)	15.2%	34.1%	34.7%	16.0%
教職員(%)	5.4%	32.4%	54.1%	8.1%
保護者(%)	11.9%	44.3%	33.0%	10.8%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	91.7%	94.3%	79.6%
令和6年度	76.9%	91.4%	72.2%
令和7年度	49.3%	37.8%	56.2%

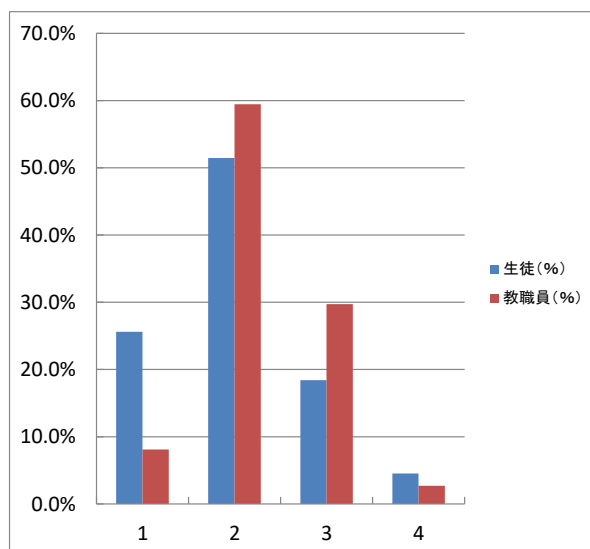


教職員の下落の大きさは自己反省と考えられる。生徒指導上の指導の難しさに、生徒や保護者が不安を感じている結果と考えられる。粘り強い指導を継続するとともに、危機管理の意識をさらに向上させ、生徒との信頼関係の構築し、安全だと感じられる学校づくりをしていきたい。

- ⑤ (生徒5) 授業の内容をよく理解していると思うか。
(教職員5)

回答	1	2	3	4
生徒人数	96	193	69	17
教職員人数	3	22	11	1
保護者人数				
生徒(%)	25.6%	51.5%	18.4%	4.5%
教職員(%)	8.1%	59.5%	29.7%	2.7%
保護者(%)				

375
37
0



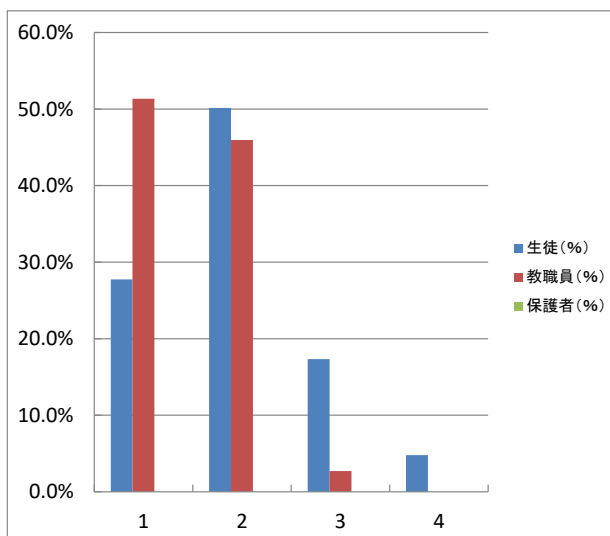
肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	83.7%	80.0%	
令和6年度	80.4%	74.3%	
令和7年度	77.1%	67.6%	

ICTの効果的な使用についてさらに研究を重ねると共に、生徒たちが「わかった」「もっとやってみよう」といった主体的な学びに向かっていけるような授業作りをしていきたい。

- ⑥ (生徒6) 授業の中で、目標(めあて、ねらい)が示されているか。
(教職員6)

回答	1	2	3	4
生徒人数	104	188	65	18
教職員人数	19	17	1	0
保護者人数				
生徒(%)	27.7%	50.1%	17.3%	4.8%
教職員(%)	51.4%	45.9%	2.7%	0.0%
保護者(%)				

375
37



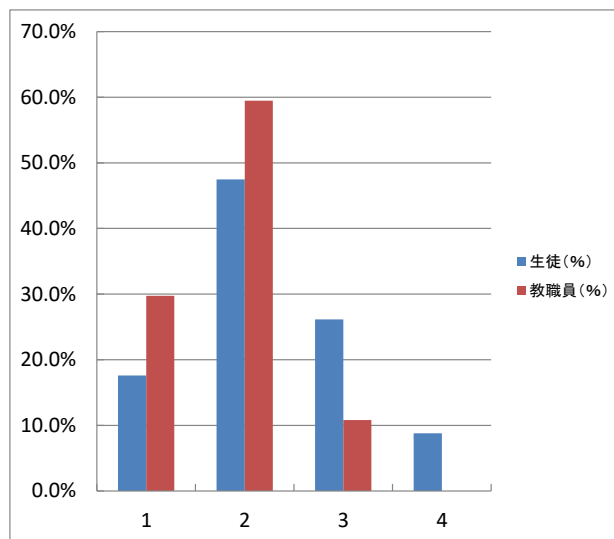
肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	83.3%	100.0%	
令和6年度	82.5%	97.1%	
令和7年度	77.9%	97.3%	

教職員は微増しているが、授業の見通しや目標が生徒たちに伝わりきっていないことが反省点である。今後は授業の目当てや目標をさらに明確に示し、それに沿った授業を組み立てて行くことが課題である。

- ⑦ (生徒7) 授業の最後に学習の振り返りの活動があるか。
(教職員7)

回答	1	2	3	4
生徒人数	66	178	98	33
教職員人数	11	22	4	0
保護者人数				
生徒(%)	17.6%	47.5%	26.1%	8.8%
教職員(%)	29.7%	59.5%	10.8%	0.0%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	75.5%	97.1%	
令和6年度	70.3%	88.6%	
令和7年度	65.1%	89.2%	

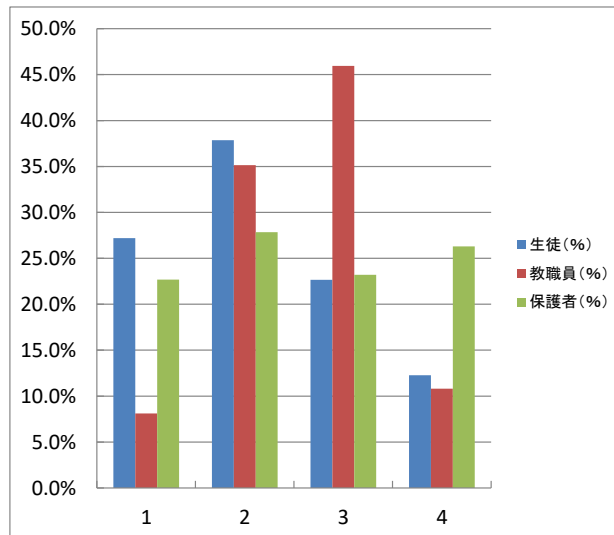


依然として水準が低くなっている。前質問同様、教職員の授業のさらなる質の向上が課題であり、今後もめあて、ねらい、振り返りを明確にした授業作りをさらに明確にしていく必要がある。

- ⑧ (生徒8) 家庭で、自分から進んで学校の課題や予習などの学習をしているか。
(教職員8) (保護者7)

回答	1	2	3	4
生徒人数	102	142	85	46
教職員人数	3	13	17	4
保護者人数	44	54	45	51
生徒(%)	27.2%	37.9%	22.7%	12.3%
教職員(%)	8.1%	35.1%	45.9%	10.8%
保護者(%)	22.7%	27.8%	23.2%	26.3%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	64.6%	45.7%	57.2%
令和6年度	67.1%	51.4%	59.6%
令和7年度	65.1%	43.2%	50.5%

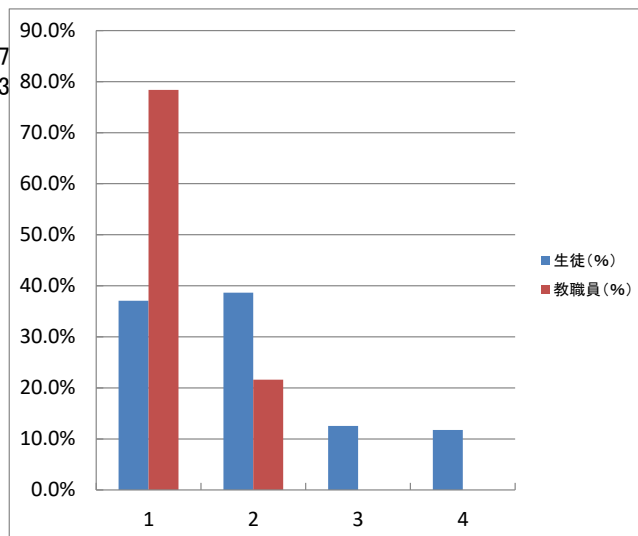


「～をする」だけでなく、「なぜそれをやるのか」「どうすれば達成できるのか」といった目的を明示して、生徒たちが目的や興味を持って家庭学習を進めることができる工夫を継続して行う必要がある。

- ⑨ (生徒9)
(教職員9) 先生から公平公正に評価されているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	139	145	47	44
教職員人数	29	8		
保護者人数				
生徒(%)	37.1%	38.7%	12.5%	11.7%
教職員(%)	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	82.0%	100.0%	
令和6年度	78.8%	100.0%	
令和7年度	75.7%	100.0%	

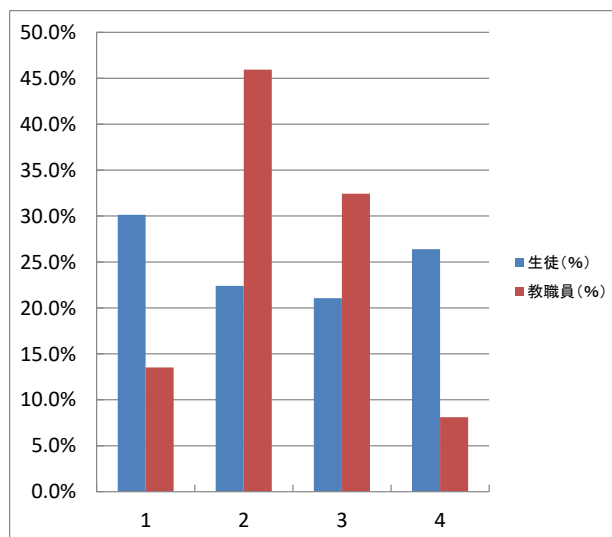


年度当初に各教科からシラバス等を利用した学習計画と評価基準の説明と、評価に対する説明を生徒に明確に伝わるように工夫する必要がある。教師が否定的回答をする事はないので設問に教職員を入れるかどうかは来年度の再度検討事項である。また、教職員の「ややそう思う」の回答があることも課題である。

- ⑩ (生徒10)
(教職員10) 朝読書の時間を有効に使い、読みたい本を読んでいるか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	113	84	79	99
教職員人数	5	17	12	3
保護者人数				
生徒(%)	30.1%	22.4%	21.1%	26.4%
教職員(%)	13.5%	45.9%	32.4%	8.1%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	67.5%	77.1%	
令和6年度	51.7%	71.4%	
令和7年度	52.5%	59.5%	

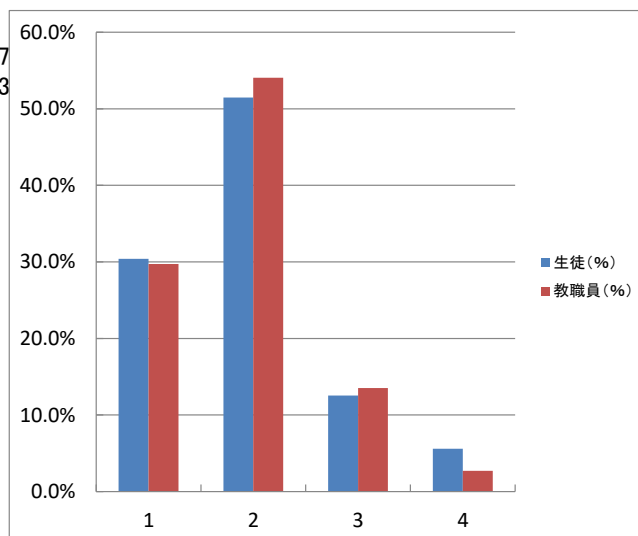


本を読んでいない生徒に対する教職員の声かけが必要である。また、朝の時間を落ち着いて読書をして一日のスタートを切るという雰囲気作りも課題として取り組む必要がある。

- ⑪ (生徒11) 総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいるか。
(教職員11)

回答	1	2	3	4
生徒人数	114	193	47	21
教職員人数	11	20	5	1
保護者人数				
生徒(%)	30.4%	51.5%	12.5%	5.6%
教職員(%)	29.7%	54.1%	13.5%	2.7%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	83.5%	94.3%	
令和6年度	79.6%	91.4%	
令和7年度	81.9%	83.8%	

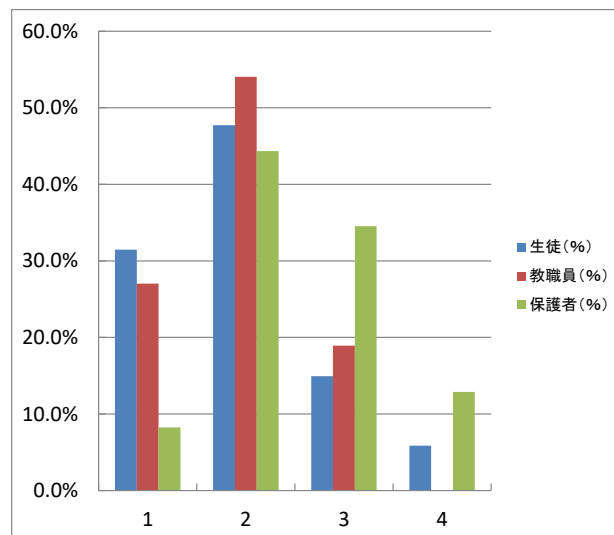


全体に意欲は見られるものの、一部の生徒が受け身になり、活動に主体的に参加させられなかったことが反省点である。来年度は、個々の興味を深掘りするような工夫をしたり、働や振り返りを充実させたりして、全員が自己の課題として取り組めるようにしていきたい。

- ⑫ (生徒12) 生徒が授業に参加できるように学び合いの場を設定するなど授業づくりの工夫をしているか。
(教職員12) 先生は、生徒の学力を伸ばすために授業の研究に努めていると思うか。
(保護者6)

回答	1	2	3	4
生徒人数	118	179	56	22
教職員人数	10	20	7	0
保護者人数	16	86	67	25
生徒(%)	31.5%	47.7%	14.9%	5.9%
教職員(%)	27.0%	54.1%	18.9%	0.0%
保護者(%)	8.2%	44.3%	34.5%	12.9%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	90.0%	88.6%	73.2%
令和6年度	85.1%	94.3%	67.5%
令和7年度	79.2%	81.1%	52.6%

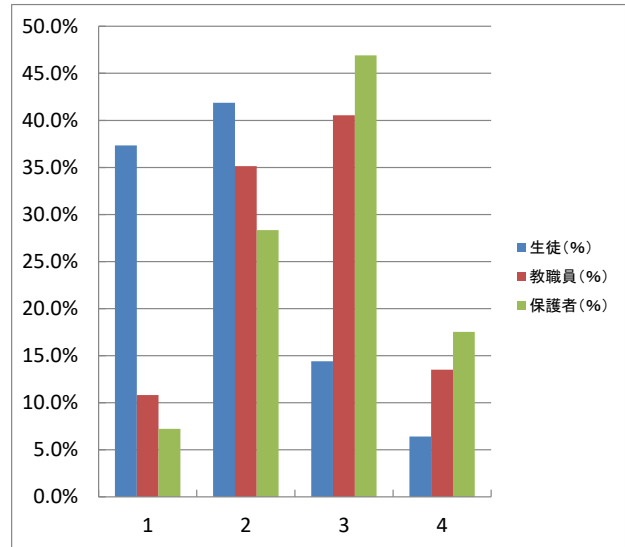


「学び合い」の意図や努力が、生徒に十分伝わっておらず、学力向上への具体的な効果が実感されなかったことが反省である。来年度は、授業における教師の関わり方や発問の工夫し、生徒の成長が見て取れるような授業内作りをしていきたい。

- ⑬ (生徒13)
(教職員13) あいさつをよくしているか。
(保護者7)

回答	1	2	3	4
生徒人数	140	157	54	24
教職員人数	4	13	15	5
保護者人数	14	55	91	34
生徒(%)	37.3%	41.9%	14.4%	6.4%
教職員(%)	10.8%	35.1%	40.5%	13.5%
保護者(%)	7.2%	28.4%	46.9%	17.5%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	88.1%	65.7%	54.5%
令和6年度	83.6%	74.3%	47.1%
令和7年度	79.2%	45.9%	35.6%

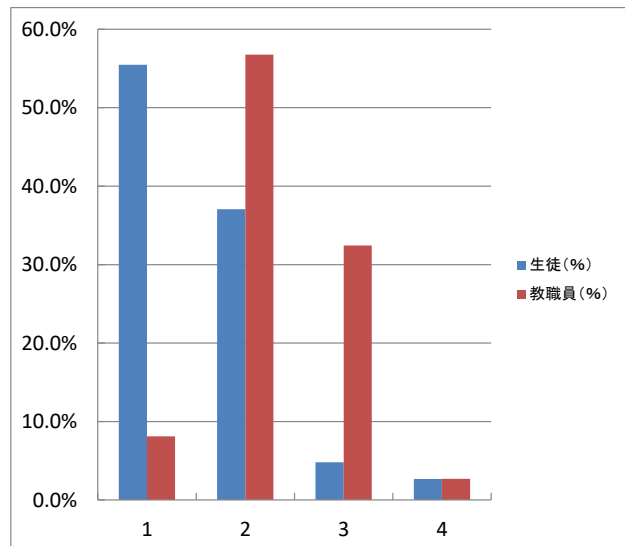


教職員からの声かけが行き届かなかったことが原因の一つで、挨拶が単なる習慣や形式になってしまい、自発的な行動につながらなかったことが反省点である。今後は教職員がすすんで挨拶する姿勢を示し、挨拶の意義について指導したり、生徒会活動と連携し、挨拶運動を活性化させるなど、学校全体の意識を高めていきたい。

- ⑭ (生徒14)
(教職員14) 給食や日直・清掃などの当番活動をよくやっているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	208	139	18	10
教職員人数	3	21	12	1
保護者人数				
生徒(%)	55.5%	37.1%	4.8%	2.7%
教職員(%)	8.1%	56.8%	32.4%	2.7%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	94.7%	88.6%	
令和6年度	93.6%	85.7%	
令和7年度	92.5%	64.9%	

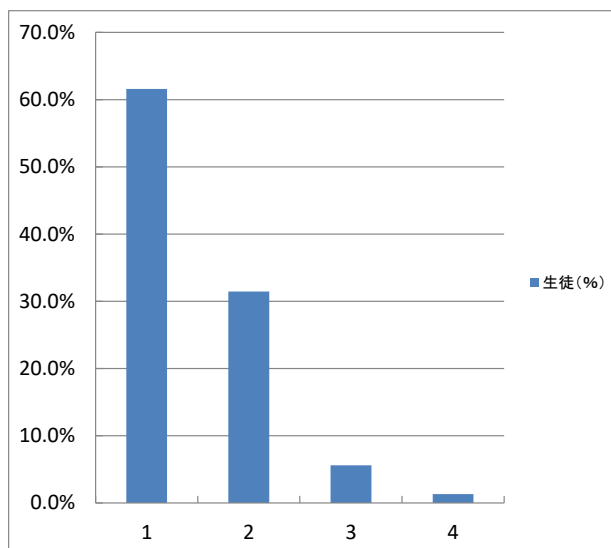


生徒と教職員の間で当番活動への評価基準が異なっており、期待値の共有が不足していたことが反省点である。当番活動の具体的な目標や手順を明確にし、評価基準をわかりやすくしていきたい。また、生徒に対して活動の目的と責任を指導し、活動後の評価・称賛の機会を設けて質の向上を促すことが課題である。

⑮ (生徒15) 服装等の規則や集団生活をする上でのルールを守っているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	231	118	21	5
教職員人数				
保護者人数				
生徒(%)	61.6%	31.5%	5.6%	1.3%
教職員(%)				
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	96.6%		
令和6年度	95.8%		
令和7年度	93.1%		

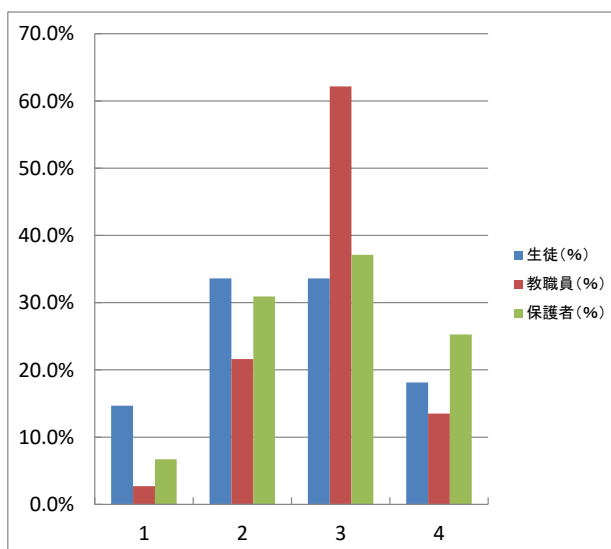


多くの生徒が、規範意識を持って学校生活を送っていると考えられる。ただし、一部の規則やルールを守らない生徒やそれに追随する生徒に対する指導を粘り強く行い、保護者との連携を密に取る必要がある。

⑯ (生徒16)
(教職員15) 決まりが守られ、秩序ある学校であるか。
(保護者8)

回答	1	2	3	4
生徒人数	55	126	126	68
教職員人数	1	8	23	5
保護者人数	13	60	72	49
生徒(%)	14.7%	33.6%	33.6%	18.1%
教職員(%)	2.7%	21.6%	62.2%	13.5%
保護者(%)	6.7%	30.9%	37.1%	25.3%

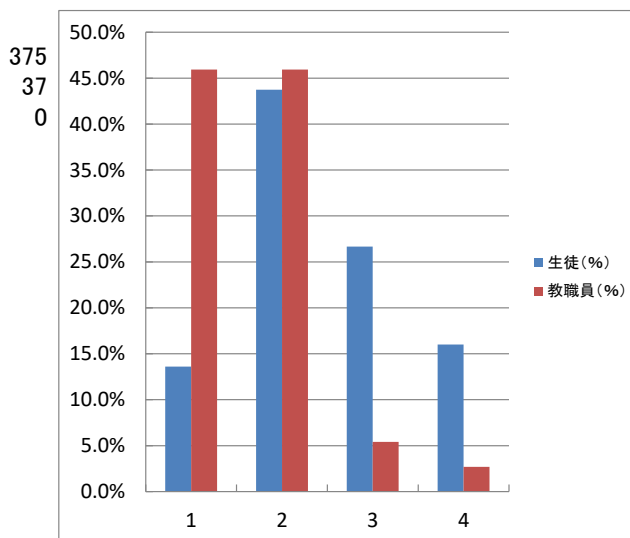
肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	92.0%	97.1%	87.0%
令和6年度	69.2%	82.9%	67.1%
令和7年度	48.3%	24.3%	37.6%



全ての数値が今年度さらに大きく下がっているのは、①の質問の理由と同様であると考えられる。また、前質問にもあったが、一部の決まりを守らない生徒がいることや、それに追随しようとする生徒への指導の難しさも一因であると考えられる。今後も前質問同様粘り強く、教職員が同じ姿勢で対応していきたい。

- ⑰ (生徒17) いじめのない学校であるか。
 (教職員16) いじめの早期発見・早期対応に意識して指導をしているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	51	164	100	60
教職員人数	17	17	2	1
保護者人数				
生徒(%)	13.6%	43.7%	26.7%	16.0%
教職員(%)	45.9%	45.9%	5.4%	2.7%
保護者(%)				

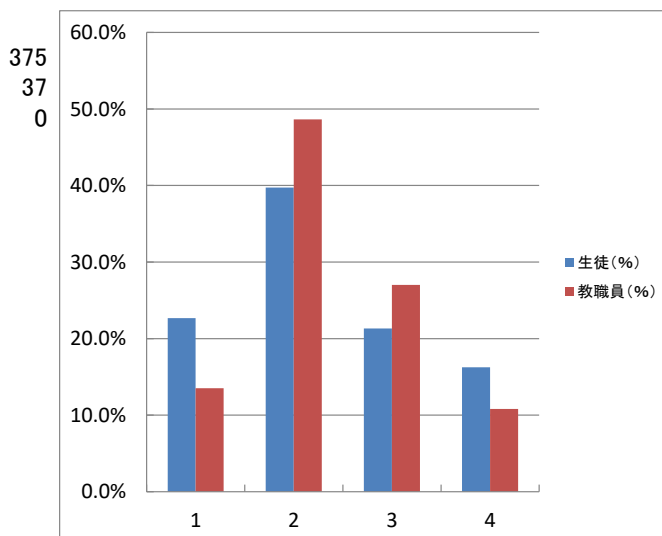


肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	77.7%	100.0%	
令和6年度	67.9%	100.0%	
令和7年度	57.3%	91.9%	

生徒たちの不安が表れた結果となった。生徒が相談しやすい環境と、教職員の危機意識の醸成をさらに高めて行くことが喫緊の課題である。定期のアンケートや教育相談をはじめ、「いじめは絶対に許さない」という全教職員の共通理解に基づいた迅速で毅然とした態度を全活動を通して示していきたい。

- ⑱ (生徒18) どの先生も同じ方針で生徒指導をしているか。
 (教職員17) どの先生も同じ方針で生徒指導をしているか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	85	149	80	61
教職員人数	5	18	10	4
保護者人数				
生徒(%)	22.7%	39.7%	21.3%	16.3%
教職員(%)	13.5%	48.6%	27.0%	10.8%
保護者(%)				



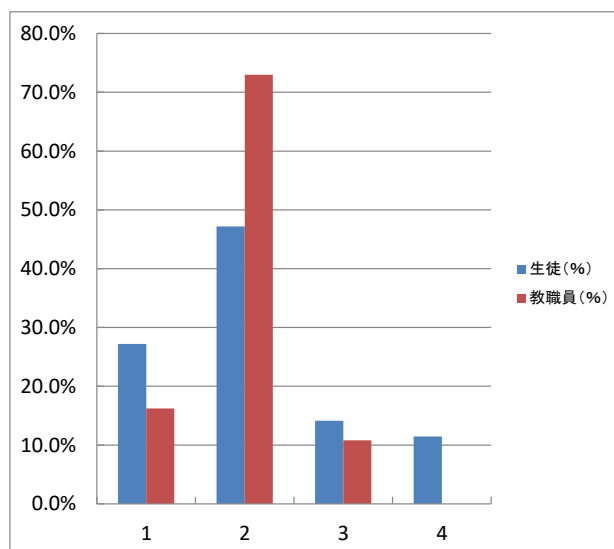
肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	75.2%	71.4%	
令和6年度	69.2%	80.0%	
令和7年度	62.4%	62.2%	

生徒指導において、指導内容の共通理解と情報共有を徹底できず、生徒に不安を感じさせてしまったことが反省点である。今後は共通の生徒指導ガイドラインをさらに周知徹底し、指導の足並みを揃え、生徒に信頼感を与えられる体制づくりをしていきたい。

- ⑱ (生徒19) 先生は生徒のことをよく理解しているか。
(教職員18)

回答	1	2	3	4
生徒人数	102	177	53	43
教職員人数	6	27	4	0
保護者人数				
生徒(%)	27.2%	47.2%	14.1%	11.5%
教職員(%)	16.2%	73.0%	10.8%	0.0%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	79.9%	91.4%	
令和6年度	75.6%	91.4%	
令和7年度	74.4%	89.2%	

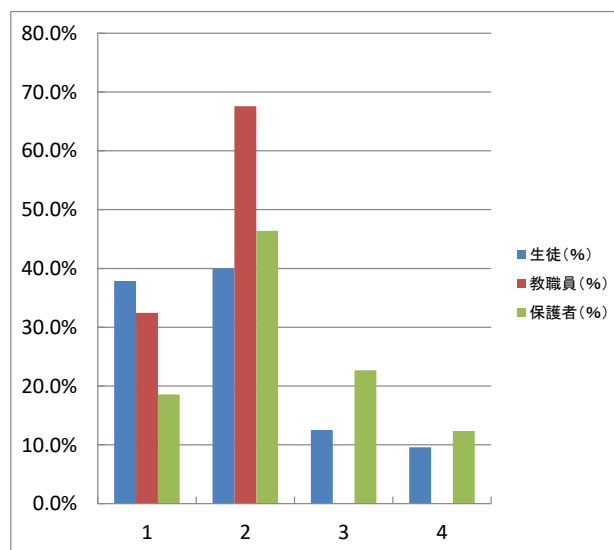


生徒の心に寄り添えているか、一方的な指導になっていないか振り返りをして、日々の声かけやふれあいタイム等をとおして、教師と生徒が相互に理解し合う関係を構築していきたい。

- ⑳ (生徒20) 生徒や保護者の悩みを聞いたり相談に乗っているか。
(教職員19) 生徒や保護者の悩みを聞いたり相談に乗っているか。
(保護者9)

回答	1	2	3	4
生徒人数	142	150	47	36
教職員人数	12	25	0	0
保護者人数	36	90	44	24
生徒(%)	37.9%	40.0%	12.5%	9.6%
教職員(%)	32.4%	67.6%	0.0%	0.0%
保護者(%)	18.6%	46.4%	22.7%	12.4%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	87.6%	94.3%	86.0%
令和6年度	82.8%	97.1%	77.6%
令和7年度	77.9%	100.0%	64.9%

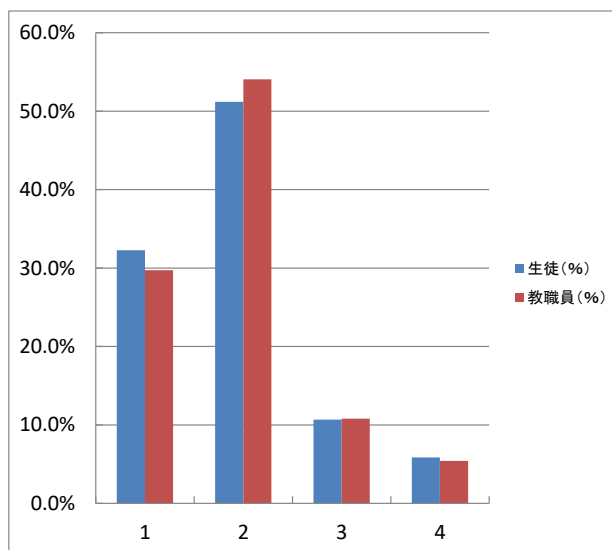


生徒、保護者ともに前年度よりも肯定的回答が減少している。相談できる雰囲気作りや、時間の確保、保護者や生徒が「誰に」「どう」相談すれば良いかという情報提供の方法を改善していきたい。

- ⑳ (生徒21) 生徒会や委員会の活動は充実しているか。
(教職員20)

回答	1	2	3	4
生徒人数	121	192	40	22
教職員人数	11	20	4	2
保護者人数				
生徒(%)	32.3%	51.2%	10.7%	5.9%
教職員(%)	29.7%	54.1%	10.8%	5.4%
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	92.0%	82.9%	
令和6年度	89.4%	85.7%	
令和7年度	83.5%	83.8%	

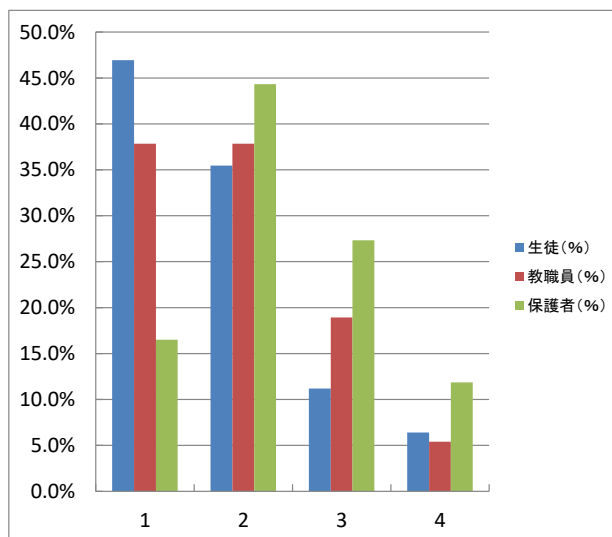


生徒、教職員の両方とも年々肯定的回答が減少している。活動内容のマンネリ化や、一部の生徒に依存してしまうことがあることが反省点である。活動の目的と方法を見直し、全生徒が関心を持つ企画を考案し、参加意欲と達成感を引き出すことで、活動の質と量の両面で充実を図ることが課題である。

- ㉑ (生徒22) 部活動は充実しているか。
(教職員21) 部活動は充実しているか。
(保護者10)

回答	1	2	3	4
生徒人数	176	133	42	24
教職員人数	14	14	7	2
保護者人数	32	86	53	23
生徒(%)	46.9%	35.5%	11.2%	6.4%
教職員(%)	37.8%	37.8%	18.9%	5.4%
保護者(%)	16.5%	44.3%	27.3%	11.9%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	91.0%	85.7%	69.9%
令和6年度	86.5%	85.7%	63.5%
令和7年度	82.4%	75.7%	60.8%

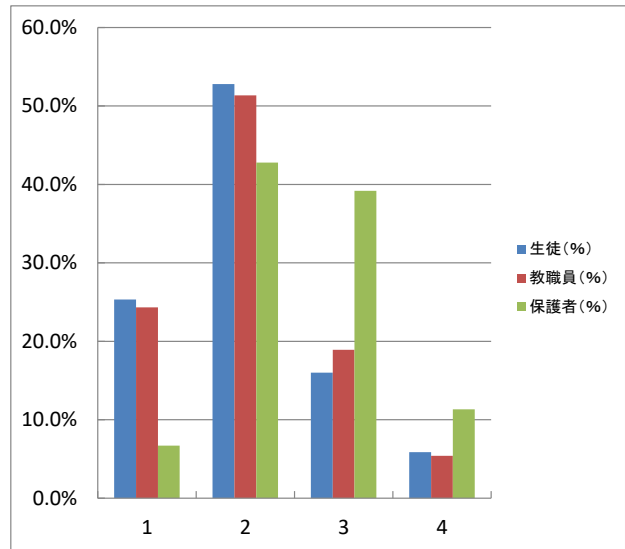


生徒の多様なニーズに応える活動内容の見直しをしていくことが課題である。また、部活動の地域移行に対する丁寧な対応と保護者への説明が必要である。

- ⑳ (生徒23)
 (教職員22) 人としての生き方を考えさせたり、心を豊かに育てようとしている
 (保護者11)

回答	1	2	3	4	
生徒人数	95	198	60	22	375
教職員人数	9	19	7	2	37
保護者人数	13	83	76	22	194
生徒(%)	25.3%	52.8%	16.0%	5.9%	
教職員(%)	24.3%	51.4%	18.9%	5.4%	
保護者(%)	6.7%	42.8%	39.2%	11.3%	

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	90.0%	85.7%	74.6%
令和6年度	82.8%	88.6%	69.8%
令和7年度	78.1%	75.7%	49.5%

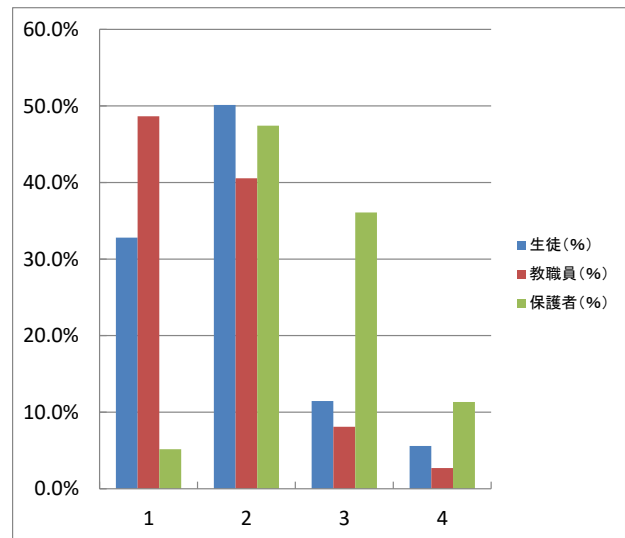


生徒の身近な倫理的ジレンマをテーマにしたグループディスカッションを取り入れる等、多様な価値観を理解する力をつけたり、体験的な学習を取り入れたらいたい。また、家庭とも教育内容を共有するために情報の発信の充実も図る必要がある。

- ㉑ (生徒24)
 (教職員23) 全教科領域で人権感覚をもって学習活動を進めているか。
 (保護者12)

回答	1	2	3	4	
生徒人数	123	188	43	21	375
教職員人数	18	15	3	1	37
保護者人数	10	92	70	22	194
生徒(%)	32.8%	50.1%	11.5%	5.6%	
教職員(%)	48.6%	40.5%	8.1%	2.7%	
保護者(%)	5.2%	47.4%	36.1%	11.3%	

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	90.0%	97.1%	73.9%
令和6年度	88.9%	94.3%	71.8%
令和7年度	82.9%	89.2%	52.6%

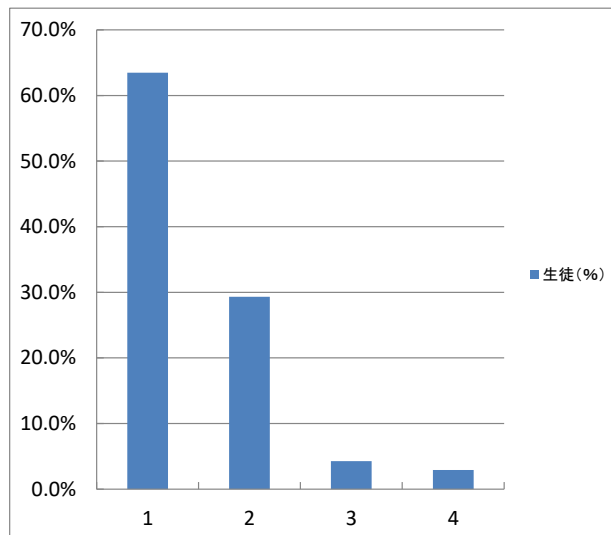


教職員の肯定的回答が下がったことが課題である。自己を振り返っての反省とも捉えられるが、今後さらに意識を持った教育活動をしていくことが課題である。また、前問と同様、情報の発信の充実を図りたい。

②⑤ (生徒25) 人の役に立つ人間になりたいと思うか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	238	110	16	11
教職員人数				
保護者人数				
生徒(%)	63.5%	29.3%	4.3%	2.9%
教職員(%)				
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	97.3%		
令和6年度	94.4%		
令和7年度	92.8%		

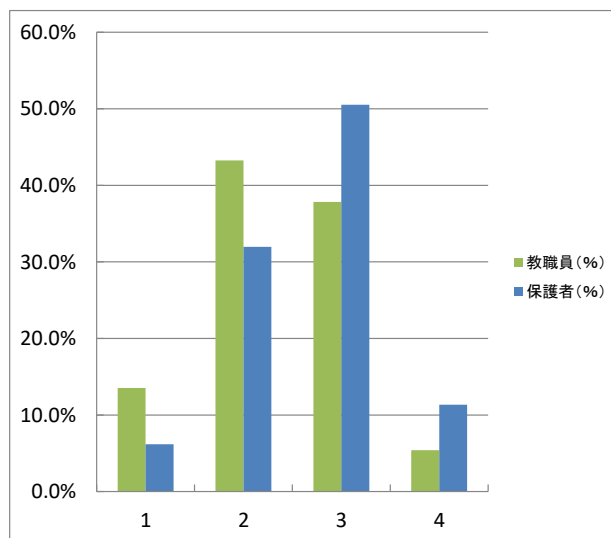


生徒が自分の良さを信じられず、自己肯定感を高められずにいたことが反省点である。課題として、学校生活のあらゆる場面で小さな成功体験を作り、よいところを認め合い、「自分にもできる」という自信を育てていきたい。

②⑥ (教職員24) 学校や地域のボランティア活動や行事への参加を積極的に促し
(保護者13)

回答	1	2	3	4
生徒人数				
教職員人数	5	16	14	2
保護者人数	12	62	98	22
生徒(%)				
教職員(%)	13.5%	43.2%	37.8%	5.4%
保護者(%)	6.2%	32.0%	50.5%	11.3%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度		54.3%	58.2%
令和6年度		85.7%	54.9%
令和7年度		56.8%	38.1%

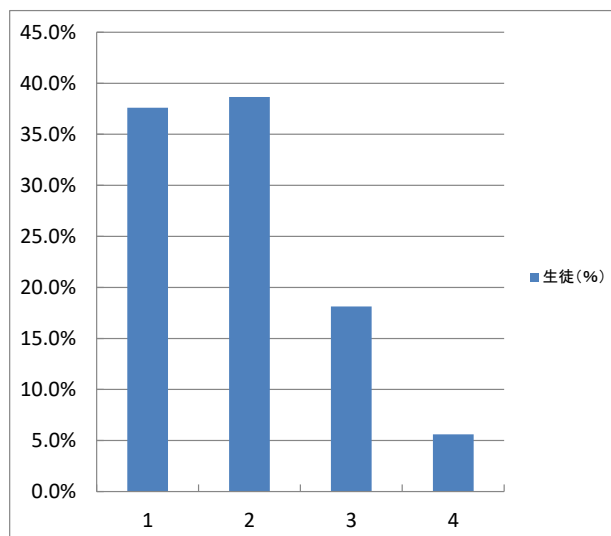


活動の意義や情報が生徒に十分に伝わっていなかったり、参加への時間的な負担感を感じさせてしまっていることが反省点である。活動の意義ややりがいを明確して、「やってみよう」という意欲をかき立てるような情報の発信をしていきたい。

⑳ (生徒26) 自分にはよいところがあると思いますか。

回答	1	2	3	4
生徒人数	141	145	68	21
教職員人数				
保護者人数				
生徒(%)	37.6%	38.7%	18.1%	5.6%
教職員(%)				
保護者(%)				

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	80.8%		
令和6年度	78.8%		
令和7年度	76.3%		

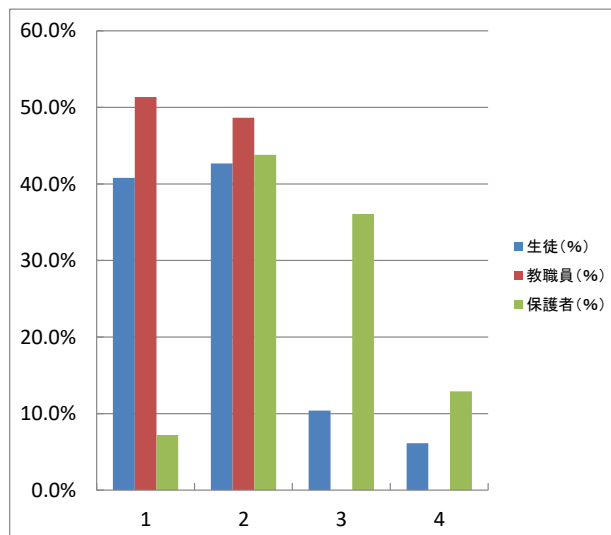


肯定的回答が減少しているのは、生徒一人ひとりの良さや努力を様々な角度から評価して、承認する機会が不足していたと考えられ、反省点である。多様な活動を通して自己への理解を深めさせ、教師全員が日々の対話の中で生徒の良い点を伝え、承認の機会を増やしていきたい。

㉑ (生徒27)
(教職員25) 生徒のよいところを認めようとしているか。
(保護者14)

回答	1	2	3	4
生徒人数	153	160	39	23
教職員人数	19	18	0	0
保護者人数	14	85	70	25
生徒(%)	40.8%	42.7%	10.4%	6.1%
教職員(%)	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%
保護者(%)	7.2%	43.8%	36.1%	12.9%

肯定的回答率(%)	生徒	教職員	保護者
令和5年度	87.6%	100.0%	80.9%
令和6年度	85.7%	100.0%	71.8%
令和7年度	83.5%	100.0%	51.0%



個々の生徒のニーズに応える努力が、保護者から見えにくくなってしまったことが反省点である。三者懇談等で生徒の個性や成長を学校から家庭へわかりやすくフィードバックし、個別の指導や承認の場面について情報共有を図りたい。

◎ 全体を通して

総じて肯定的な回答が前年度よりも下がっている。中にはその落差が大きいものもある。特に教職員の下落幅の大きさは現状に課題を感じており、自己反省としての結果と捉えられる。しかしながら、生徒指導上の課題に対して難しさを感じながらも教職員全体で日々粘り強い指導を継続している。今後も継続した指導を行うとともに、生徒たちの良さを認めて自己肯定感を高められるような指導も継続して図っていきたい。また、学習面に関して、基本的な授業規律を大切に、落ち着いた雰囲気の中で「わかった」と感じられるような授業作りをしていくために研鑽を重ねていきたい。最後に、学校の様子や教育活動をプロセスを含めてさらにわかりやすく発信し、家庭や地域と共有することも継続していくことも課題としたい。